

【0606a】DCF 療法〔day0-5〕

※15 日目は DCF 療法〔day15〕を使用してください

【投与スケジュール】1 コース=28 日

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W
ドセタキセル	ドセタキセル	DOC	30mg/m ²	↓ Day1		↓ Day15	
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	80mg/m ²	↓ Day1			
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	800mg/m ²	↓ Day1~5			

※1~5 日目は長時間の水分負荷、連続投与を行うため、入院での施行となります

【投与日のタイムテーブル】 Day0~5

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day0			
主管①	<入院注射>ソルデム 1 輸液 500mL	3 本	持続
Day1			
主管①	<入院注射>生理食塩液 500mL	3 本	持続
側管②	アロキシ静注 0.75mg	1 本	30 分
	デカドロン注射液 3.3mg	3 管	
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管③	ドセタキセル	30 mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250ml	1 本	
側管④	生理食塩液 500mL	1 本	90 分
	硫酸 Mg 補正液(1mEq/mL) 20mL	1 管	
内服	アプレピタントカプセル 125mg	1 カプセル	シスプラチン開始 60~90 分前
側管⑤	20%マンニトール注射液「YD」300mL	1 本	30 分
側管⑥	シスプラチン(規格無し)	80 mg/m ²	2 時間
	生理食塩液	300mL	
側管⑦	フロセミド注 20mg	0.5 本	5 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管⑧	フルオロウラシル	800 mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	

Day2-3			
主管①	<入院注射> KN3 号輸液 500mL	2 本	持続
側管①	デカドロン注射液 3.3mg	2 管	15 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管②	フルオロウラシル	800mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	
内服	アプレピタントカプセル 80mg	1 カプセル	午前中
Day4-5			
側管①	デカドロン注射液 3.3mg	2 管	15 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管②	フルオロウラシル	800mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	

※アプレピタントを使用する場合は、Day1 はシスプラチン投与 1 時間～1 時間半前、Day2-3 は午前中に服用する
 ※アプレピタントを使用しない場合は、Day1 のデカドロンを 4～5 管に増量

<参照用:食道癌 06b DCF 療法[day15] を使用してください>

Day15			
①	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	30 分
	デカドロン 3.3mg	2 管	
②	ドセタキセル	30 mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	生理食塩液 50mL	1 本	ルートリンス

催吐性	シスプラチン: 高度
組織傷害性	シスプラチン: 炎症性 フルオロウラシル: 炎症性 ドセタキセル: 壊死性
代表的副作用	シスプラチン >10%…悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制 1～10%…聴力障害、末梢神経障害、電解質異常(低 Mg 血症) フルオロウラシル >10%…食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明…心筋虚血、白質脳症 ドセタキセル >10%…骨髄抑制、悪心嘔吐、脱毛、倦怠感、末梢神経障害、皮疹、爪の変化、感染 <1%…浮腫、体液貯留(胸水など)

【注意事項】

(シスプラチン)

- 光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が 6 時間を超える場合は遮光して投与すること
- 腎毒性軽減のため、十分な量の補液が必要である。尿量や体重の変動に注意し、必要に応じ利尿剤を追加すること

(ドセタキセル点滴静注「ヤクルト」)

- 添加物として無水エタノールを含有しない